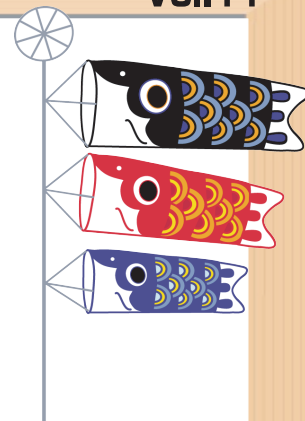


Panasonic そらみみ工房 ニュースレター

パソコンのお医者さん

0120-73-8855

ぽそこんの"ば"



「イラストわんぱく」

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、お亡くなりになられた方々に深い哀悼の意をささげます。また、被災された地域の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

この大震災の中、電話・携帯が繋がらないなど「こんな時に！」と思える事がやはりおきていました。

ただ、ツイッターなどで安否確認や情報のやりとりが行われていた様で…普段こういったSNSを利用しない私でも、少しは触っておこうかな。これも防災意識かな。と感じてしまいました。(新宮)

※「ぽそこんの"ば"」は当店のお客様、展示会にご来店いただいた方、名刺交換させて頂きました方にお送りしております。今後配送を希望されない方はお手数ですが、メールまたはFAX等で当方までご連絡下さい。よろしくお願いたします。

壊れたパソコンを修理して、被災地に届けよう作戦!

～東日本大震災 復旧・復興支援について、ご協力をお願い～

この度の震災の復興支援として、私たちの技術とノウハウを活かした支援として、「パソコンを被災地に届ける支援活動」をスタートさせました。被災された多くの企業の方々が復旧・再興していく上で、パソコンは欠かすことのできない機械です。

中小企業の経営者で組織される「中小企業家同友会」という全国組織があります。私が所属する「兵庫県中小企業家同友会」から4月に、「被災地復興に向けての支援依頼」がありました。その時、当社からは稼働できるパソコン3台を支援させていただいたのですが、事務局と話したところ、「集まりが非常に悪い」ということでした。

私のお店には、毎日多くの調子の悪いパソコンが持ち込まれます。その中には「修理をすれば直るのだが、今回は金額が合わないので修理をせずに廃棄します。」という方も多くおられます。それならば、ぜひその廃棄する予定のパソコンを、被災地支援に回してあげることができないか…と思ったのが、今回の支援プロジェクトの切っ掛けでした。

通常パソコンは、1台購入するのに約10～15万円程度の費用がかかりますが、今回の支援では、当方の作業を復興支援活動として行わせて頂きますので「1万円以内の支援で10万円相当の価値を持つパソコンとして」現地に支給することが可能になります。様々な支援の形がありますが、付加価値を生み出す、支援の方法も良い方法ではないかなあと思います。

まず第一便として50台までを、パソコンリサイクル費用とほぼ同等の「8,000円」(交換部品代のみ)で受付させていただきます。修理していないパソコンがあれば、是非ご協力ください!

支援までの流れ

1. 不要なパソコンの「メーカーと型番」「状態」を当方までご連絡ください。性能と故障箇所などを確認の上で、支援用として可能かどうかをお返事します。
2. 支援可能な場合、パソコンを当社までお持ち込み下さい。(お伝え頂ければ、郵送でも可です)
3. パソコンの部品交換と、初期化・初期設定作業を行います。被災地に届いてすぐに壊れた!という事態を防ぐために、ハードディスクを新品に入れ替え、セキュリティ対策、オフィスソフトの設定をします。
4. 兵庫同友会を通じて、被災地へ届けます。

■受付できる機械

WindowsXP、VISTA, 7の機種に限ります。リカバリディスク、キーボード、マウス、電源ケーブルがあれば一緒に送ってください。モニターは液晶に限り受付可能です。

■受付できない機械

Windows2000、Me、98、自作機、ブラウン管モニターは受け付けできません。

マザーボード故障の機械は修理できませんが、活用できる部品を別のパソコンに取り付けて、縁の下の力持ちとして現地を支援していただくことも可能です。

私たちはこの支援方法で、被災地に活気もどるまで地元企業を応援し続けます!

今回は、兵庫県の同友会事務局と提携して、共同プロジェクトとして行います。事務局が岩手、宮城、福島各県の同友会までトラックで運搬し、そこから被災した同友会の会員企業へ分配を行います。

支援いただける場合や、詳しいことをお聞きになりたい場合は、0120-73-8855 までお電話ください。
ホームページ (<http://www.soramimist.com>)にも詳しい情報を掲載しています。(いなざわ)

離れた拠点間での情報のやり取りには、現在でも電話・FAXは重要な位置を占めますが、日本が世界でもトップクラスにITインフラが整っていることもあり、メール・IP電話等もコストの面から徐々に台頭してきています。

写真・図面等をメールに添付して送付するのは非常にお手軽ですが、たまにデータが送れないといった質問をいただくことがあります。実は一通のメールで送れるデータ容量には制限があり、各プロバイダによって容量はマチマチであるのが現状です。よく巷に「メールボックス容量～」の表示は溜め込めるメールデータの総容量であり、一通あたりの限度は明示されてはいないことが多いのです。現在は1MB～多くて10MB程度であり、なおかつこちら側だけでなく中継地点や相手先の契約しているプロバイダの制限も掛かってきますので、特に海外へのメールなどは留意しておくべきでしょう。頻繁に大きなデータのやり取りが発生する場合には利便性が少々損なわれますが、ネットワークストレージなどの他のサービスを利用を検討することになります。



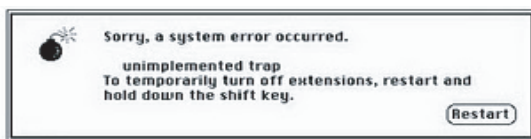
第11話：「静止したモニターの中で」

サポートチーフ：吉本

以前「決戦！サッドマック」の回で紹介した SadMacアイコンを覚えているだろうか？

おもにハードウェアに致命的なエラーが起きた際に表示されるものであるが、このSadMacとは別にシステムの読み込みが始まった後に表示される「爆弾マーク」というものがある。(図参照)

こちらは殆どどのOLD Macユーザーが目にしたことがあるかと思うのだが、おもにソフトウェアの致命的エラーによって表示される。Windowsで言うところのブルースクリーンと同じ状態であり、これが表示された時点でMacのシステム動作は停止する。昔のOSは起動中に、システムに追加する機能をコントロールパネルや機



能拡張から読み込み、画面の左下に追加機能のアイコンを次々と表示していった。この読み込みの順番次第では「システムコンフリクト」を起こし、起動途中に「爆弾マーク」が表示されて起動が停止する。こうなると一旦、Shiftキーを押しながら再起動し、拡張機能無し

の状態ですべてシステムをセーフ起動させる。その後、不要な機能拡張を削除したり、システムに読み込ませる順番を変更したりして正常に起動するまで調整を繰り返すことで「爆弾マーク」は回避できた。

起動途中の「爆弾マーク」は特に実害は無いと言ってよい。しかしである。システムが起動した後、アプリケーションソフトを使用中に突如として「爆弾マーク」が表示されシステム動作が停止することがある。この場合、主な原因はプログラムのバグやソフトウェア同士のコンフリクトによるものなのだが・・・恐ろしいことにアプリ使用中の爆弾マークは、全ての作成中のデータが消えてなくなる。(極々まれに、この状態でもコマンドキー+Sを押すことで、データが保存されて助かっていたということもあったが。)そして、静止した画面の中に表示された「爆弾マーク」を見つめながら、筆者の動作もしばしの間、停止するのであった。(°Д°)ポカーン

次回「林檎の価値は」み～んなで、見てね！ (^-^v



☆神戸・明石店からののお知らせ☆
現在社内で行っている「リビルド2011～そらみみ工房・再構築～」の一環としてこの度、神戸明石店は5月20日に閉店する運びとなりました。次のステップに進むための前進となります。この事で、全スタッフが一カ所に集結し、これまで以上に満足頂けるサポート体勢となります。お役に立つ情報も、ホームページなどを含めて、これまでよりも充実した状態で発信して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

◎高砂本店

676-0082 高砂市曾根町2239-7
TEL 079-448-8855 定休日：土・日・祝日
FAX 079-448-8859 営業時間 9:00-18:00

◎神戸・明石店

674-0067 明石市大久保町大久保町26-1-2F
TEL 078-938-6682 定休日：土・日・祝日
FAX 078-938-6683 営業時間 9:00-17:00



0120-73-8855

メール：office@soramimist.com

ホームページ：http://www.soramimist.com